

平成24年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成24年度森の名手・名人に認定された県内の1名に対し、公益社団法人国土緑化推進機構から届いた認定証が10月19日、公益社団法人岐阜県緑化推進委員会会長の 駒田 誠 岐阜県議会議長から伝達されました。



駒田誠緑化推進委員会会長(右)から認定証の伝達を受ける寺澤俊二さん(左)

今年度森の名手・名人に認定された方

森づくり
(道づくり)

恵那市明智町大田 … 寺澤 俊二さん

52年間にわたり自己山林において植栽から保育までの森づくりに取り組んできた。その傍ら施業の効率化、低コスト化をめざし、早くから作業道の開設に着眼し、災害にもろい花崗岩地帯での堅強な道づくりを、自らの計画と作業で進めてきたことにより、森づくり部門において卓越した技術が認められました。

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに」に「ぼん運動」が平成14年11月に開始されました。

公益社団法人国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わる樵、マタギ、炭焼きなどの生業においてすぐれた技を極め、他の模範となっている達人について、その内容により「森づくり」、「森の恵み」、「加工」、「森の伝承・文化」の4部門を設け、「森の名手・名人」として選定しています。

平成24年度
現在の認定状況

- 全国の認定者数……993名(本年度69名)
- 岐阜県の認定者数…… 41名(本年度 1名)

※岐阜県の認定者数は、愛媛県の49名、長野県の43名に次いで全国第3位となっています。



記念撮影:左から駒田誠緑化推進委員会会長、寺澤俊二さん、水野正敏県議会農林委員長、正村洋一郎県林政部長



牧戸城址望楼



御手洗川

今回は、高山市荘川町にある「荘川 であいの森」を紹介いたします。

「荘川 であいの森」は、郡上方面から国道156号線を北上し、国道158号線へ入る交差点の手前にあります。荘川はかつて、飛騨・美濃及び越中との交通の要所であり、それだけの地域の人々が顔を合わせる場所でした。このことからこの森へ訪れる人にも新たな出会いがあるようにと願って命名されました。

この森には、様々な種類の樹木が植えられており、春は山桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は樹氷と一年を通して訪れる人の目を惹かせてくれます。特に桜やツツジ、アンス、ササユリの花は一際、訪れる人の目を惹きます。

また、森の東側には、向牧戸城の跡地に作られた「牧戸城址望楼」があります。向牧戸城は、一四〇六年に内ヶ島上野介為氏(のり)が時の将軍、足利義政の命を受け荘川の地に築いた城です。ここから周辺を見回すと、荘川と御手洗川の二本の川に囲まれていることに気がきます。敵から攻められにくい箇所に築城されていることがわかり、遠い室町の時代へ思いを馳せることができる場所です。

牧戸城址望楼から西へ進むと、樹齢250年

荘川 であいの森

森の楽園の紹介 28

県内各地にある森の楽園を紹介していきます。

飛騨農林事務所 ● 中野大佑

荘川 であいの森 MAP



問い合わせ先
飛騨農林事務所
TEL 0577-133111(内線487)



遊歩道



であいの館

を超えるヒノキを使用し造られた、「であいの館」があります。館内には、樹木や野生動物の標本・写真が展示されており、まるで博物館のような造りになっています。森の中を散策するだけでは見えてこない自然の表情を知ることができそうです。また、周辺には公園や水場も整備されており、子どもから大人まで楽しむことができます。

ぜひ皆さんも、「荘川 であいの森」で、新しい出会いを体験してみませんか？